



R18

ADULT ONLY

PARALLEL CIRCUIT

STAR DRIVER SUBATA★TAKUTO



ども、CARNELIANです！

今回は2011年から2013年現在までに描いたスガタク漫画の再録+描き下ろし12p本です。

あ、アンソロやゲスト参加させて頂いた原稿等は含まれておりません。ネームだけならもう数百ページ分は書いたのですが、形になったのは数冊分、このくらいだったかあと編集しながら思いました。

精一杯の愛を注ぐには、いささか時間が足りないようです(；_；)

それでも今年もスガタとタクトをかわらず愛でていきたいと思います☆


2012年3月某日 CARNELIAN

PARALLEL CIRCUIT



スキナモノヲスキナダケ
Sugata Takuto

スキナモノヨスキナダケ
2011年5月



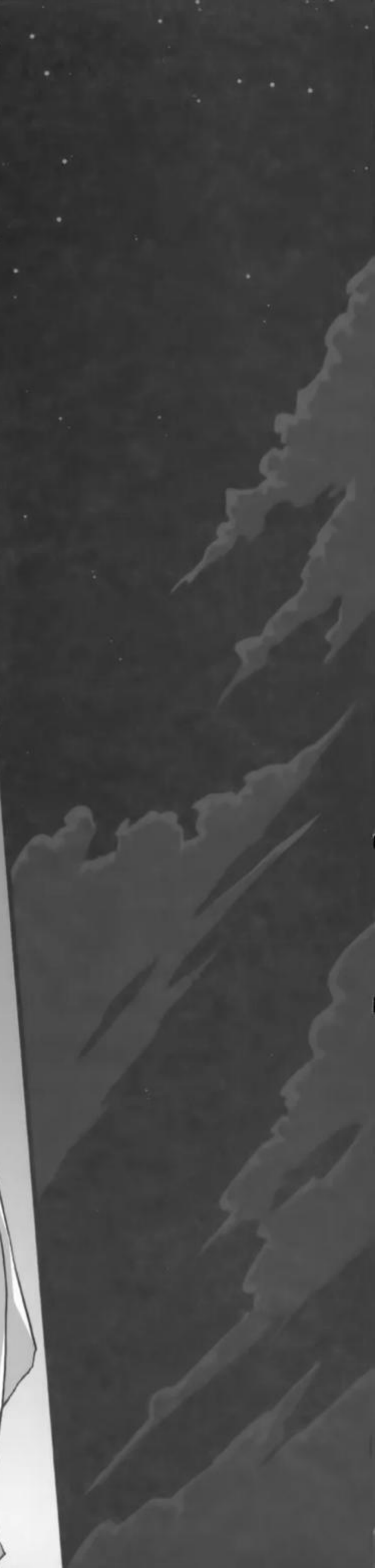
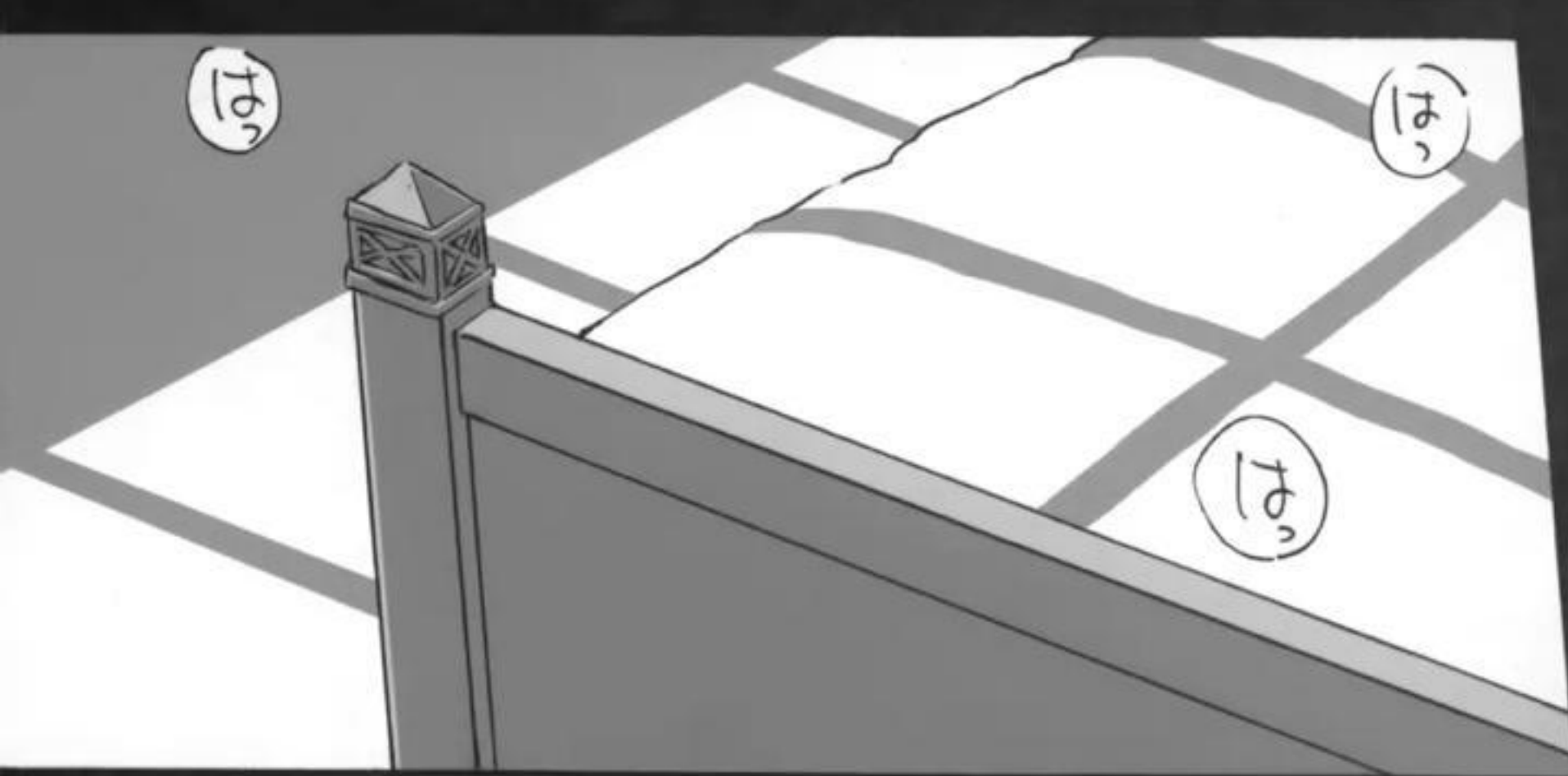
どれだけ注げばみたされるのか

どれだけ飲めばみたされるのか

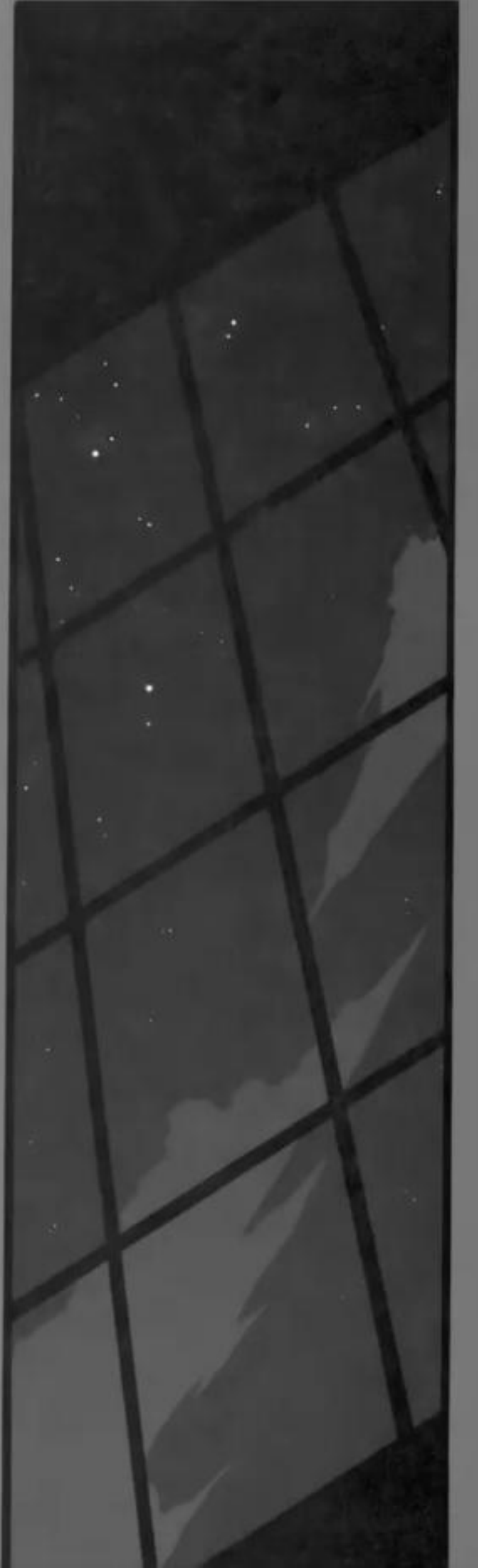
わからない僕らの渴望



スキナモノヲスキナザケ









ホントに
ここ使つて
いいの？



ワコに聞いたよ
小さい頃使つた
部屋なんだろう？

僕もこういうの
欲しかったな

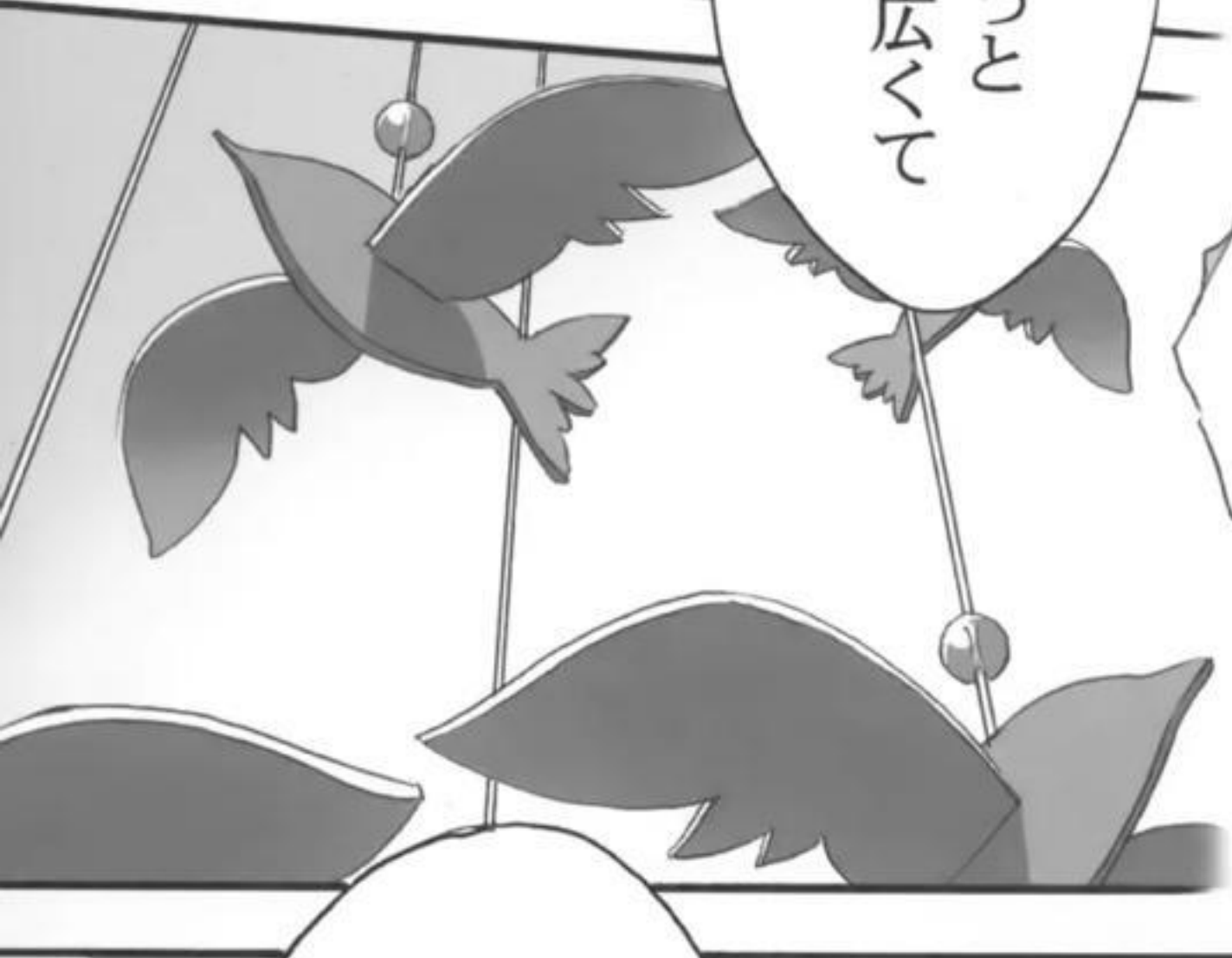
買つて
もらえなかった
けどね



そうだな



昔はもつと
世界が広くて



欲しいものは
たくさんあった
気がする




五年前のあの日から
僕はこの部屋を
出た



ここにはあの頃
僕が好きだったものが
そのままおいてある





あれから
ずっと
入れなかった

あ……

だから……



タクトが
使ってくれたら
うれしいよ



スガタ……







ハハハ



フフフ...

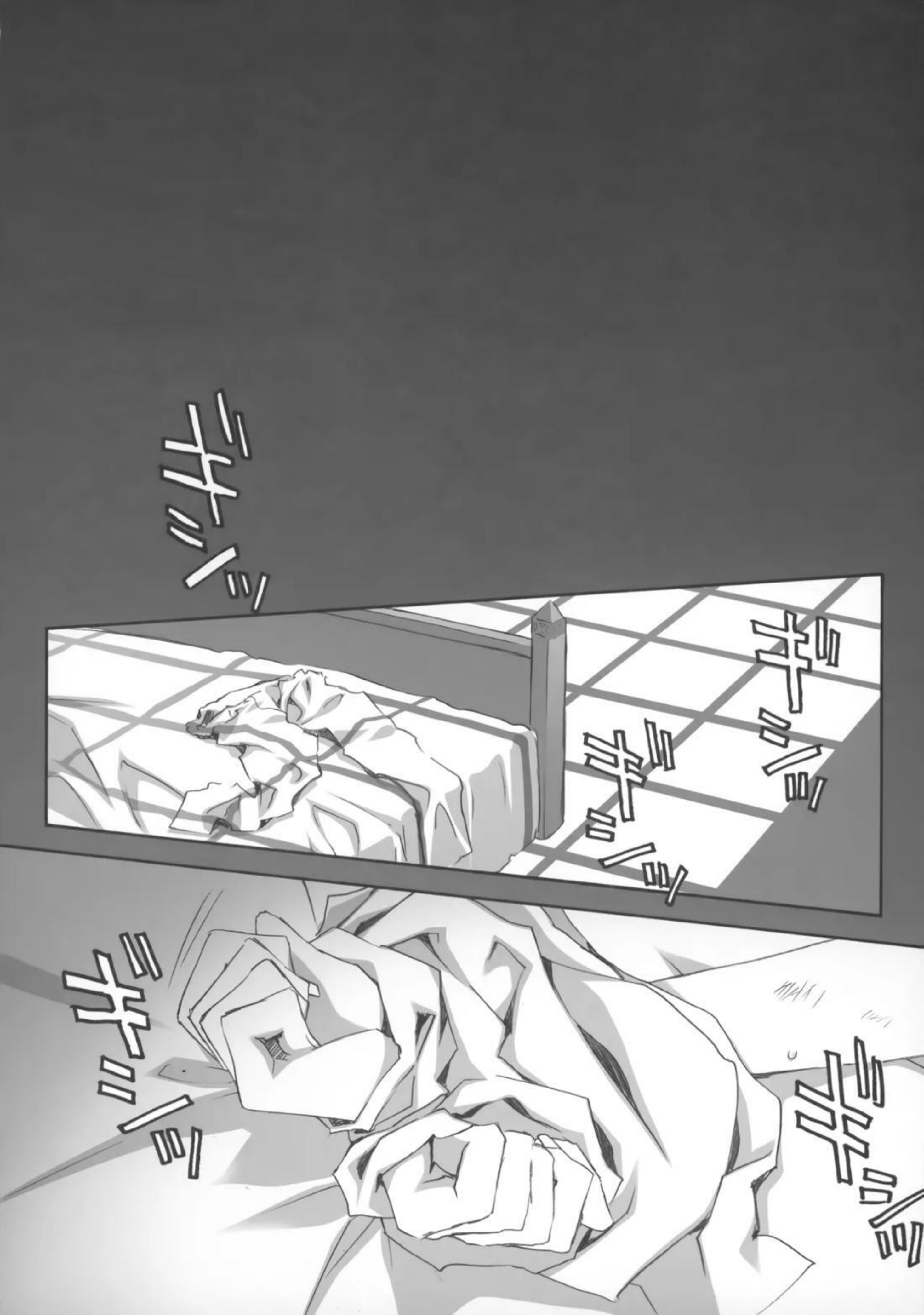
.....?



タクト

遊びに来たよ







何回やっても
タクトの中は
気持ちいいな

そんなに
せつついて
しめつけるな

もう何度も
イかせて
やったらろ？

アハハハハハ

シクシクシク



入れながら
コスられるの
好きだよな

中で
射^だ精されるのも
好きだっけ

というか
男に挿れられるのが
好きなのか？

淫乱だな





ハハハ

ハハハ

…スガ…

ハハハ

……

ハハハ

ハハハ

…

顔をみせろ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

まだ足りない
ようだな

あ

ひあ

い……

か
か
か

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



痛……

深すぎ……

ぐちゃぐちゃ

ヌボッ

ヌボッ

おなか……
いたあ……

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

優しい
いつもの
スガタも

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

もじと

浅くツ……

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

……

こうか？



あひひひひひ

こんなヤリカタで
僕を抱くスガタも
スガタ
どちらも彼だ

あ

び

あ

び

び

び

び

び

び

び

び

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



ここが
最奥かな…



そんなに
つらそうな顔
するなよ
スガタ



消せない
癖と
感觸
目を見れば
わかる

あ…
あ

おまえが
この島に
つながれて
いるなら

僕がいつか
その鎖を
絶ち切って
あげるから

は……っ

好き……だ……よう

スガタあ……っ

……ッ！

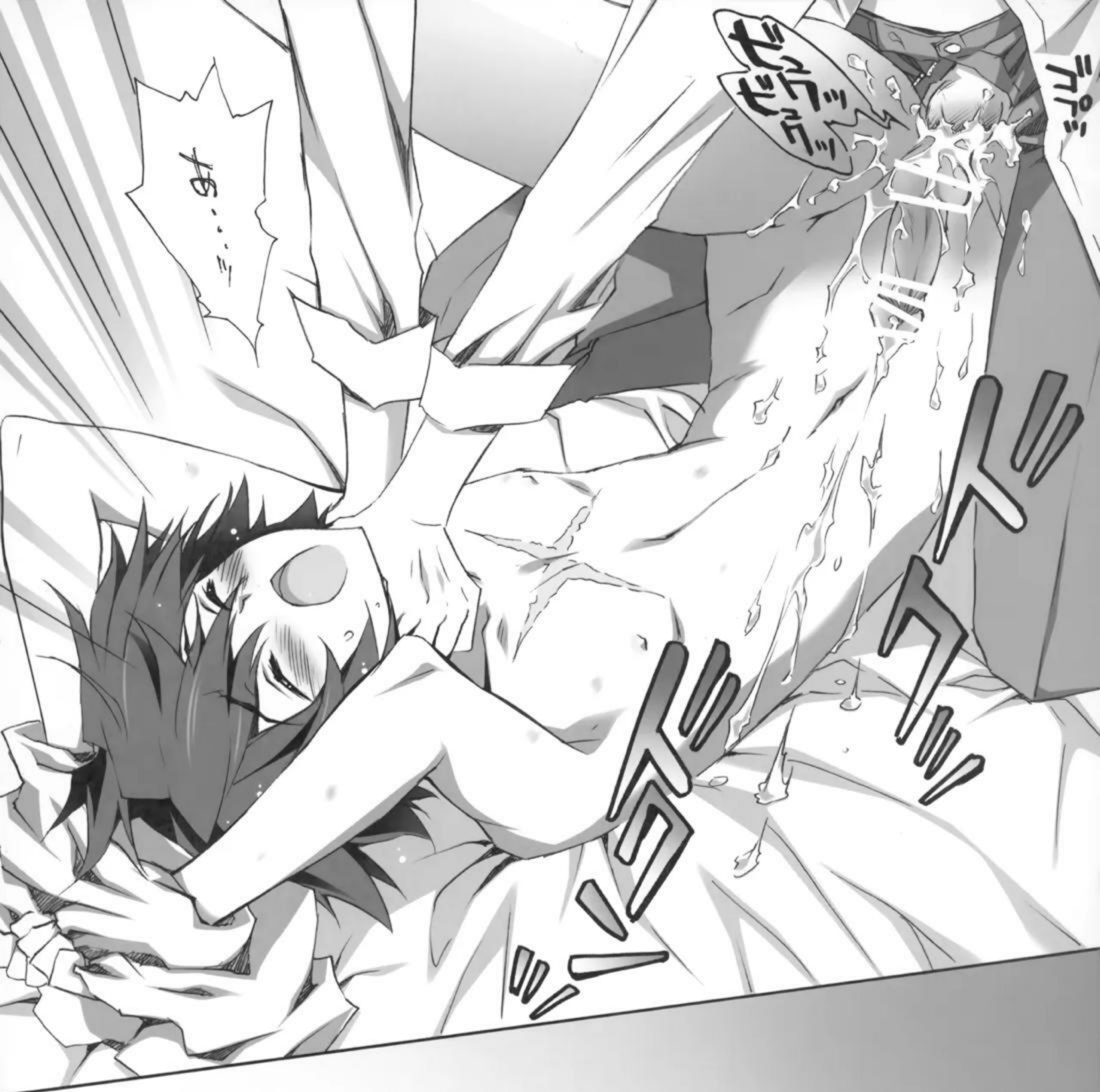




スガタ...

スガタ...





ガッ...

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



スガタ……



……

遅いぞ
タクト

どうした
具合が悪いのか？

朝の稽古は…
…ん？

え…あ
うん
ちよつと風邪
ひいたっぽいかな

大丈夫か？
声も
おかしいぞお前

この島は
あたたかいけど
夜はそれなりに
冷えるから
気をつけた方がいい

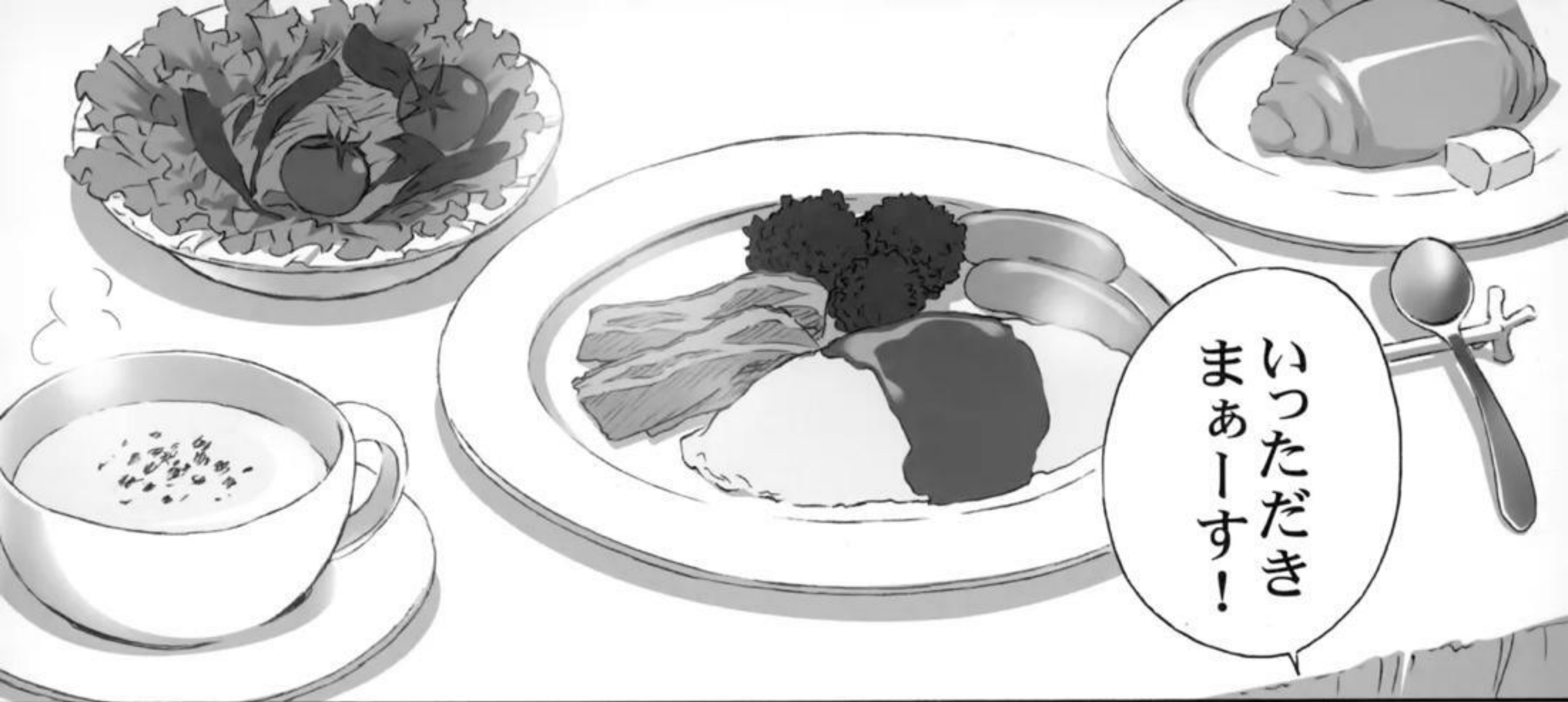


そう
あいつは
あんな夜のあとは
いつも決まって
何もおぼえていない



きつと
あいつの背負ってる
シルシが
そうさせるんだ

だからあの
スガタの事は
僕だけの
秘密にしておく



いつただき
まあーす！



ほーんと
ここんちの
ごはんは
おいしいよね！

そうか
よかつたな

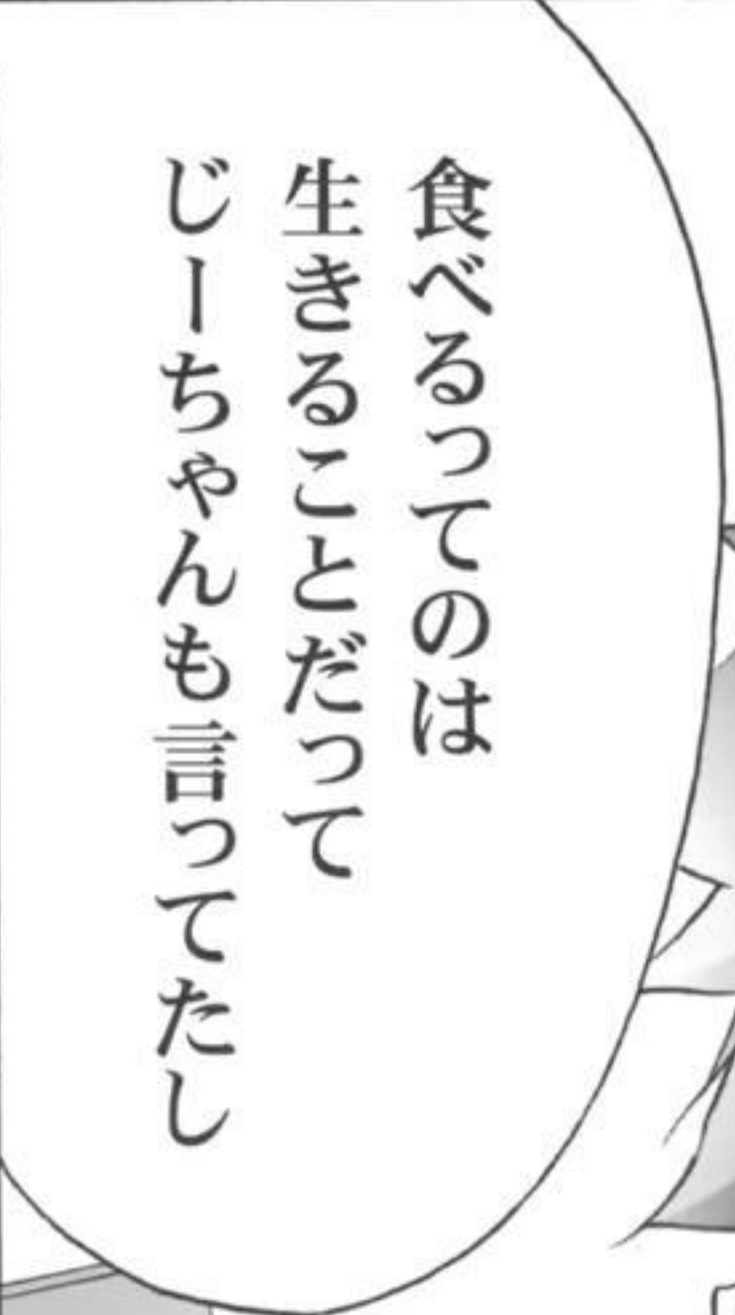




そういうの
よくないよ？



スガタって
案外
好き嫌い多い？



食べるってのは
生きることだって
じーちゃんも言ってたし



オムライス
かな？

？…なんだろう？

好きな食べ物は
ひとつだけあるけど

別に
好きも嫌いも
ないよ



これで僕は
じゅうぶん





そう

生きることは
貪欲で甘い

あきらめていた僕に
君が教えて
くれたこと



だから僕は
あの宝物の部屋で
大好きな君を
好きなだけむさぼる

END



sweet virus

STAR DRIVER FANBOOK 02
Sugata*Takuto



sweet virus
2011年5月

授業中に辞書をひらけば

『恋』とか『愛』とか『接吻』とか

ついつい調べたり

キュン！とかドキン！とか効果音つきの感情にまかせて

『この人は自分の恋人ですっ！』とか

自慢げに叫びだしたくなったり

『会えない時間』はため息ついて指折り計算

『一緒にいる時間』は熱い吐息で計算不能

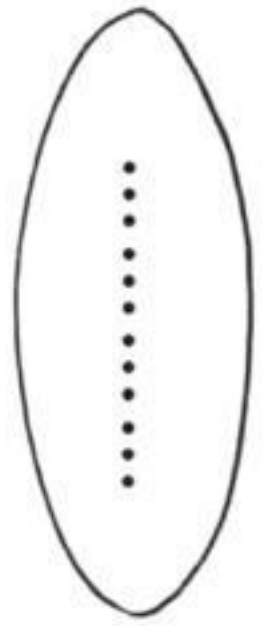
君に 発熱 動悸 目眩

そんな症状がでたら

甘い恋愛ウィルス感染中



sweet virus





こんな至近距離で
他人の顔を
見ることで
ないよね…

まっげながら

綺麗な輪郭…

自分より
すこし低い体温が
気持ちいい

でも時に
溶けるほどの
熱さも与えてくれる
カラダだ

ふふふ……

これは…

これは…



何時？

わかんないけど…
まだ早いと思うよ？

確かに静かだ…

稽古のせいで
早起き習慣ついちゃって
どうしても決まった時間帯
一度目が覚めるんだよね

毎朝寮から
学校に行く準備して
くるから大変なんだよ？

ああ
お前の寝癖
すごいもんな

ん？

ハハハ

ハハハ



そんな月曜日の朝――

お風呂！

あつ
ない……！

ジャガー先輩達
起きる前に
入って
支度しないと……

いいかげん学習を……

スガタツ
僕の下着
どこになげたの……！？

……って
いったああ！

……



お互いの想いに
気が付いてからは
まだ2ヶ月も
たつてない



出会ってまだ
半年くらい



初めては一度だけだから…
大事に
青春のページを飾る
素敵なものに

勢いで流されるのも
魅力的だけど
それですましてしまふのは…
強くて大事すぎる想いだつた

そう思ったので

嵐は突然
まきおこして

スガタは
与えたくて…
僕は
ほしがって…

欲しいと…
相手に深く浸食して
一刻も早く
自分のものに
染め上げたい衝動は

同じ性をもった
僕らには
わかりすぎなほど

でこぼこな僕らの
一つになりたい衝動を
止める『壁』なんて
なかったんだ



…んう…かなり
…やっぱい…
なんか…

段階を
すっ飛ばし
しまった気がするわ…
僕の青春…

ああ
きつと僕かスガタが
女の子だったら…
ちがったんだらうか…

はぁ



守ってあげたい笑顔
柔らかい髪



乱暴にしたら
こわれそうな
華奢なカラダ



そう
ちゃんとステップふんで
うん…余裕をもって
大事に…





大事に……







ふふっ…
綺麗な襟足に
素敵なシルシ発見♪

タクト君の恋人は
独占欲が強いよね





私もー♥

タクトくん！
お弁当
作ってきたよ♥

ザワ
ザワ
ザワ



暇だろ？
暇だよな？

うん？

あ
#

タクト！



どしたのスガタ
バッグ持って
どこに…

話がある

ちよつと僕に
つきあえ

コクーン



……ツ!!

ぜったい
跡がつく!



!



なッ

スガタっ…



……えっ？
さっき……って？

ワコを
見てただろ

さっき何
考えてた

ああ……えっと……
女の子って
可愛いなって……

……



タクト君の恋人は
独占欲が強いよね



スガタ？

ぎゅ

僕にも計画とか
あったんだよ
スガタ…

普通に恋愛の手順…
告白して…
手を繋いで…
キスをして…

僕は
お前のすべてを
手に入れたかった

その存在を
支配して
征服して

僕だって同じだよ
スガタが欲しくて

この存在が
自分のものだと
全身で
感じたかった

でも実際は
そんな余裕
なんてなくて…
その…
告白してすぐに…

…僕かスガタが
女の子だったら
違ったのかなとか
考えちゃってた
だけ…

……そんなことか……

!! えー!?

結構大事だったん
ですけど……
僕の青春……

今からやれば
いいじゃないか

……





僕の
初めては
全部タクトに
捧げるよ



は…
ハズカ
シイ…ツ

カマ…!

へたぁー

スツ
スガタ…ツ

!!!



好きだよ
タクト……

僕のものに
なっ



ドキドキ
する……

……

あ まただ
もうどうしようも
ないな
僕はっ

スガタに
ふれられると
もうだめだ



タクト

……う？

教室もどるの
無理だろ

……ここでなんて
やだよ……



ふん
ふん



タクトの寮に
行こう？

日中ならだれも
いないだろ？

寮？



ガキヤツ

…先生には体調不良で
早退させて下さい
…って
電話してきたよ

スガタ
ワコに電話
しておい…

んう…

…僕のビョーキの
発信源
スガタ……

いあ……

電話したよ…大丈夫
タクトが具合悪く
なったから
寮におくつてくつて…
ね？

ちゃんと
看病してあげるよ
最後まで…

お互い様

またー！

……

……

……







あ...

あ...っ

!

いめ...

ごめんsgata...



アッ!

アッ!

アッ!





僕の部屋も…
あれからタクトの
気配がして…

この部屋…
タクトの匂い
するね…



これも初めてだよ
タクトの…
テリトリーに
潜入成功

僕の気配…
ここにも
残して
いかなきゃね

お前が
いない日は…
たまらない







やるぞ



なに…？

わ？！



!!?

…あ
だッだめだよ
スガタ！

…そのまま
とか
無理だし…
僕こまるしっ

だってその…
シタあと
お風呂とか
はいれないしっ

……お前の中で
僕がださなきや
いいだろ？

ぶっぶっぶっ



先週...
いやどうでもいいだろ
そこはお前のことを
考えてだし...
それに...







...ムム...



タクト...
三本目...
入れるよ...

ズツ

ズツ



ムム...

ムム

ダメだよ
タクト?

は

ム...

ズツ



!

ズツ

ズツ

ズツ



指きつい…
ちやんと
足もって…
もつと開いて



あ…あ…あ…

あ…

た…た…
い…い…

い…い…
な…な…
こ…こ…



あ…

あ…



……

あ…あ…

クワッ…

素直だね
…もうすこしだよ



ん...ふう...

ゆび...すがたの...とけて

...わかんない...ぬるぬるして...



ん

あ

くるし〜?



ん...ウン

あやあやあや

僕ならここにいろよ.....



あ

ウン...
すがたア...

気持ちいい?

ん

ん



ん？



……っ！



もう欲しい？



……
僕がやる、
スガタに
つける…





タクト……ごっち

あ……っ

自分で入れて……
タクトの好きに
動いて？

僕のことも
気持ちよくさせて……

タクトに
愛されてるって
実感させて？



.....

いつもはじめが
キツイんだ...

.....

ここから
入れば...



はあ
あ
あ

あ
あ



全部はいったね

はあ

あ

あ...
あ



3...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...



スガタ

スガタ

は

あッ

ああ

スガタ

んあ

好きだ

はあッ

スガタ

スガタ

ああッ

好きだ

スガタ

スガタ

好きだ

はッ...

タクト...
いいよ...

ん...

スガタ...



伝わって

あッ

あ...いしてるよ
スガタア...

僕のカラダで
もっと感じて?



ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ





ごめん……

ひどい……
すが……たっ

僕も……

愛してるよ
タクト……

あ

ん

あ

は

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



は

は

は



は

は

は

は

は

は

は

は





タクトの気持ち
伝わったよ
すこし
気持ち
落ち着いた…



僕わかったよ

手をつないでも
キスをして
伝えきれない
くらい…




がば、



スガタが
大好きだから

「きゅん」



つたえたくって
感じたかったから…
僕ら
こんな事するんだ

また不安になったら
こうやって
確かめれば
いいね



ああ……



そうだな……

手に入れたものはとても甘かった
それはいままで感じたことのない癖になる甘さ

発生源は君

禁断症状にご注意

君と僕が
学園で学ぶ
いくつかのこと



君と僕が学園で学ぶいくつかのこと
2011年8月

夏つてのは
とにかくアツイ
もんだよね
はつきりした
季節で僕はスキ

この南十字島の夏は
本土みたいな
湿気がない分
カラッとしてる

それが少しだけ
物足りなく
感じることも
あつたり

図書室

しかも
こんなクーラーの
効いた室内
なんかにいると

今が夏だつて
ことも
忘れそうになる

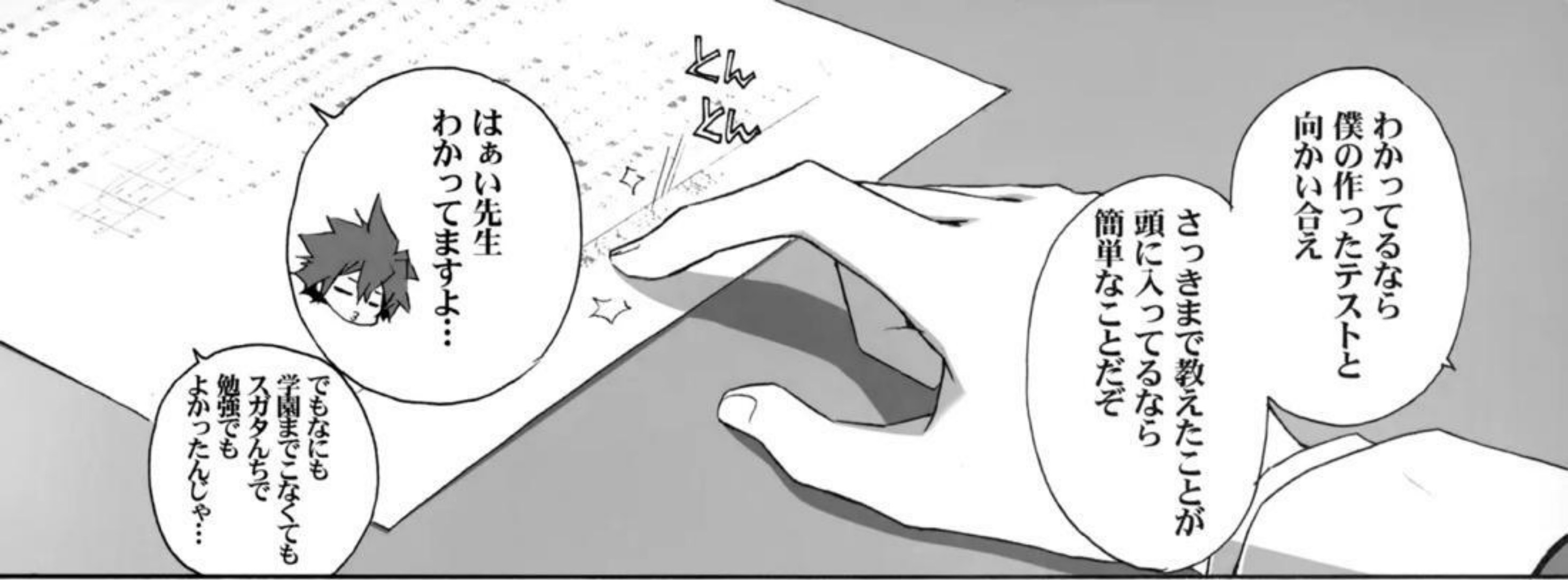
タクト

集中しろ！

何のために
お前につきあって
夏休みの学園まで
来てると思う

僕の学期末試験の
理数の結果が微妙すぎて
追試になったから

スガタ様が
個人的に補習して
くださってます



わかってるなら
僕の作ったテストと
向かい合え

さっきまで教えたことが
頭に入ってるなら
簡単なことだぞ

はあい先生
わかってますよ...

でもなにも
学園までこなくても
スカタンちで
勉強でも
よかったんしゃ...

だめだ
あそこだとジャガー達が
なにかにつけて
茶だの菓子だの持ってきて
お前が集中できない
なにより.....

いいから
早くテスト!



あ
なんかいいかけた

半
回

夏休みに入ってから
全然シテない……
そうシテないんだ
恋人になつた僕らにとつて
今はまさに真つ盛りな
夏なんじゃないんですか？

いいかげん不安になる
本当は僕に
興味がなくなつたんじや
ないかって

前は違つた
あんなに真剣に誰かに
もとめられる
ことなんてなかつた
あの時は僕無敵だつて
自信でいっぱいなれたの……

はじめは
焦らされてるのかな
とも思ったけど
さすがにこれは……
キスだつて触れる程度で

恋愛してむづかしい……
言葉で確認
できることには
限界がある

ねだりすぎて
拒絶されるのも怖い
でもせっかくな手に入れた
ぬくもりを
手放すのも怖い

なんでシないの？



なんで最近僕に
さわんないの？



そんなんで
スガタは
いいのかわよ——！！



……なんだ
物欲しそうな…
情けない顔して…
問題がわからないのか？



まったく
わかりません



……ツタクト！
お前……
もっと集中しろ！



これはテストだから
そうやってよそ見しても
何度でもできるが
ゼロ時間に入ったら
どうする

戦いには
補習や追試の
二度目はないんだぞ

カ
タ
ム



じゃあ

集中できるように
こっちの補習にも
つきあってよ

先生でも
友達でもない……

スガタが
たりないよ？



* KIMI TO BOKU GA GAKUEN DE OBOERU IKUTUKANOKOTO *



せつかく
我慢してたのに……



なんで?
僕安心したよ……

スガタに
飽きられてるのかと
おもったら悲しかった

……なっ
違う……

綺羅星の連中……
だいたいが僕達と同じ
サイクルだったじゃないか
授業がある時はこなかった

ああ……うん

夏休みに入ったら
それこそいつお前が
ゼロ時間に呼ばれるか
わからない

いつだって戦えるように
お前にこういった負担を
かけさせたくなかった

……スガタらしい
心配だね……

でもそれは
ちよつと間違いかも

たしかに
身体のことだけなら
多少くるものは
あるけど……

あーっ

スガタとこうやって
青春謳歌する方が
僕は強くなれるよ

……足腰
たたないくせに

……わわッ

……こつちも
補習次第じゃ
ないの？

ねえ
スガタ

もっと僕に
教えてよ

僕が
迷わないくらい




ずっと
おまえが欲しかったよ
タクト

ああ
やっ
と
僕の中にも
大好きな夏がきた

息苦しく
なるくらい
アツイ夏を
君と

toward the water





toward the water
2011年10月

僕は

この世界を守るために
捧げられた生贖みみたいなものだわ

はじめ
君はなぜ
どこにでもとべる翼をもっているの？
この島にきたのか？
自ら生贖みになりてきた君が不思議で興味をもった

容赦無く放り込まれるゼロ時間で
あらがわず
何も言わず
何も聞かず
戦う運命を受け入れる君

同じように
あらがわず
何も言わず
何も聞かず
君は僕を受け入れた

僕は何も言えない

好き

愛してる

大好き

そばにいたい

君は拒まない
まるで僕に捧げられた生贄のように
君は何も言わずに僕を受け入れた

この世でお前だけが欲しいと渴望されたい
この世でお前だけが欲しいと渴望する

縛る言葉など
他人にも自分にも言えなかった

熱を持って
思考の鎧が崩れ
違う君が見え隠れしたとき

君は何か言いそじりになって
唇をかむことがある



僕は
どうしても
それを知りたくて
暴きたくて

めちぎらんちぎらん
君を抱へ

君の中は
このままどうなってもいいと
思えるほどみたされる

こんなに深くまで君に潜り込んで
君を手に入れたと
僕の場所を手に入れたと感じても

熱がひけば
また一人になる





ズル

ズル

…タクト?

?



……スガタ…
怖い……

何が?

……おじいちゃん
……のまみ



ゆらゆらと
お互いを感じあつけれど



僕らはずっと
波打ち際で立って




一つにはなれない



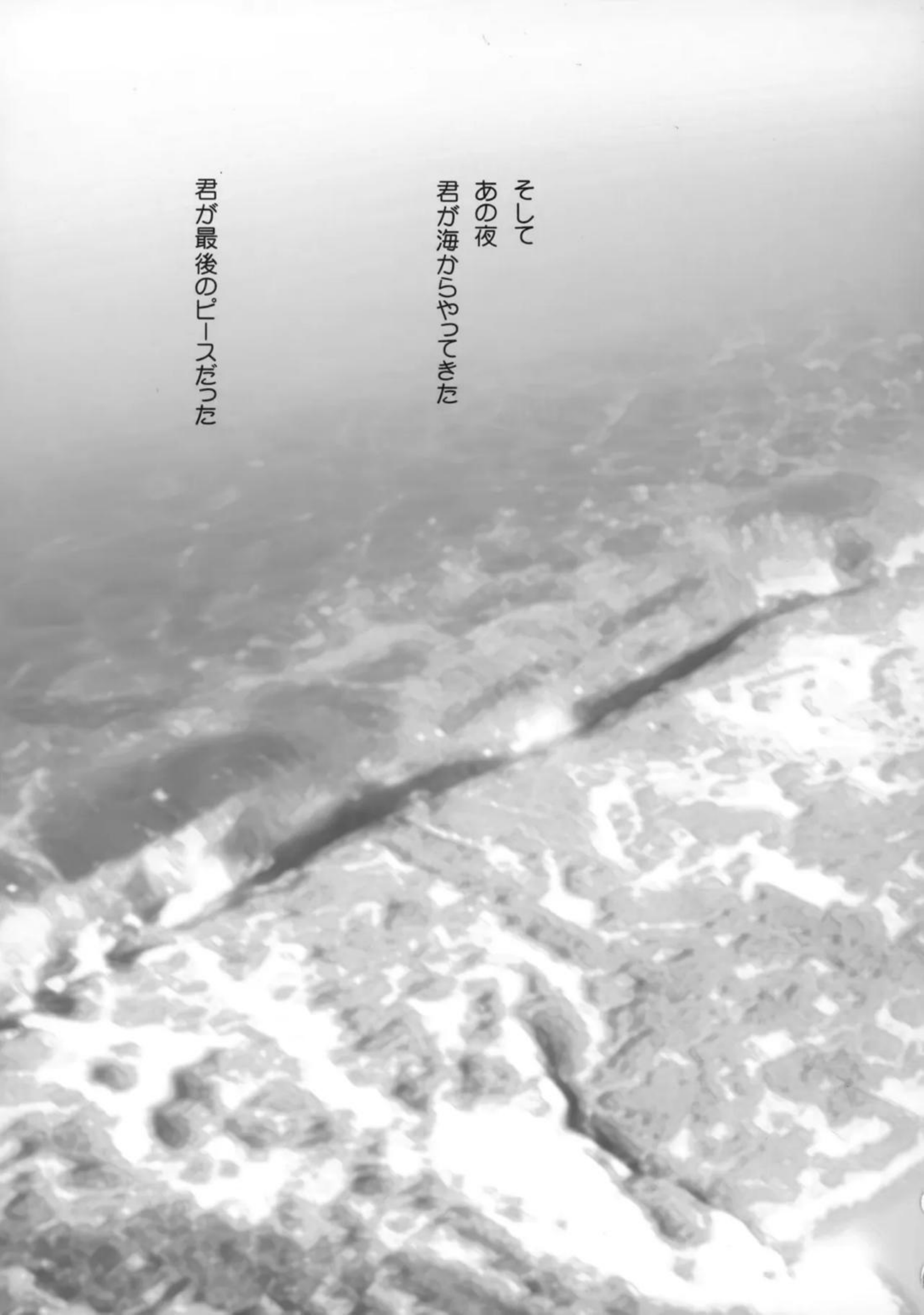
しよっぱいね

海の味がするよ
タクト



ずっと波打ち際に立って
海を島を世界を見ていた
どこにも行けず
動けず見ていた

僕の世界は何かを欠いていた
未完成のパズルみたいに



そして

あの夜

君が海からやってきた

君が最後のピースだった

世界はクリアだ
僕のいない世界の景色はともクリアに見える
僕は決心する

この世界を

君のいる

君の守りたい世界を
守るよ——

toward the water
END



Winter Star

A decorative graphic consisting of three overlapping, stylized arrow shapes pointing to the left, rendered in shades of gray. The text is positioned to the right of these arrows.

Winter Star
2011年12月

ハァァァ...

君の中の僕

CARNELIAN



それで……
ビデオ鑑賞会とやらの
空気について
いけなくて……
抜け出して
きたわけか

んん——……
普通のビデオ借りてきて
見るんだと思って
たんだけどね

アダルトビデオ
だったと……

あの戦いに決着もついて
タクトは怪我が治ってすべに
けじめといって
この館を出て寮生活に戻った

それでも週末には
なんだかんだと
理由をつけて
僕のところに行く

タクトは
二人きりになると
こじあいて



元来甘えたなのか
どこかしらくっつく
ように座っている

そんな無邪気さに
僕はいつまで平静で
いられるのか

友達の顔をして
僕が妄想の中で
どれだけ君を汚して
いるか知ったら
君はもう
こんな風に
側にいては
くれないだろう

この抑制力、
最近では
禅の域にたっしめる
気さえする

……だからさあ、
スガタは
どうなんだよっ

××××××××××××××××××
昔も流しこんだから
しらんけど……
慣れろ……

ああいうの見ても
全然興味ないっ
ていうか平気そうだし
反応淡泊だよね

どうやらこの話は
簡単に終えたく
ないようだ

何か引っかかる
ことでも
あるんだろうか

人の味も……
和らな……
……
……
……

……タクトは
好きな子を想って
欲情したり
しないのか？

え！



……スガタって
時々いきなりっていうか
直球っていうか……

……まあ、
そうだね、
好きな子だったら……

かあー!!



そんな顔して……

乙女みたいに
純情で素直……


お前の妄想に嫉妬
するなんて
僕も相当病んでる

ズキーン……




まあ普通は、
別に恋や愛がなくなたって
欲情はわくんじや
ないか？

え……




男の欲情なんて
食欲みたいなものだろ
美味しそうだと
思ったから
食べたくなる

食べて満たされて
しまえば
また飢えるまでは
忘れてる
それだけ




お前の
反応の方が
珍しいんじゃないか？
今時




食欲と同じって…
あ、そういうえば
スガタって
あんまり
食べないよね

だからそんなに
いつもクールで
いられるわけ？

キミ…
「お前」
「お前」
「お前」



……
そういう気持ちになつたりとか……
しないの？



……なら
大食いなお前は
そんな爽やかな
顔して

実際は好きな子
相手に相当エロい
妄想してるん
だらうな？



……

あせっ

「さっさとギョテか？」



……タクト？

僕は……
妄想してるよ……



スガタ……
前に言ってたよな
好きって
抱きたいとか
支配したいって
ことじゃ
ないかって

スガタはいつも
クールだけど
好きな子には
そう思うって
事だよな……

そんなスガタ
見たことない



なんか……僕
苦しくなってきた







好きだよ

僕も好き

さうやって僕らは

互いの欲を噛りあつた

QUALIA





QUALIA
2012年5月

休日っていいのは
心身を休めるから
休日っていいんだってこと

そんなの
好きな人ができて
しかも両思いに
なりましたなんて
あかつきは

必然的に
恋人デーだと
僕は解釈している

THU	FRI	SAT
7	8	9
14	15	16
21	22	23
28	29	30

平日『親友』の僕らのカテゴリーは
週末になると『恋人』に変わる

QUALIA

CARNELIAN



御飯たべて

ここまじま
平日とあまじ
変わらない

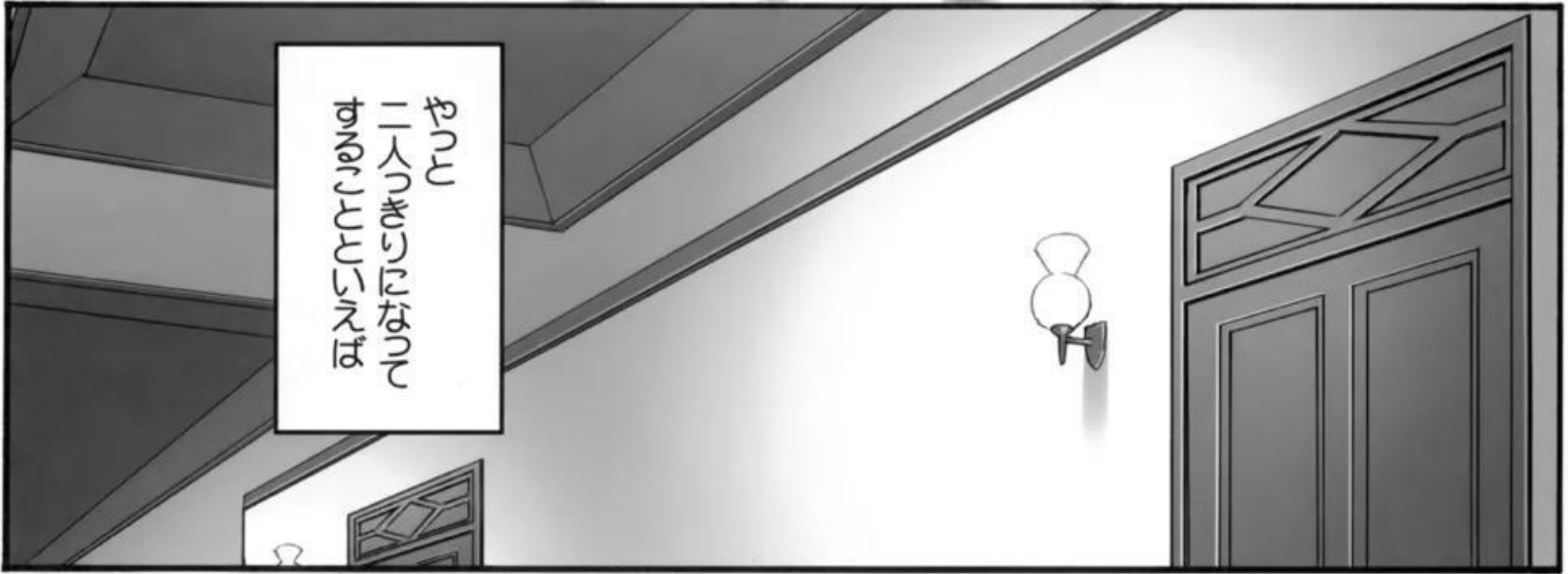


日中

外で遊んで



日が暮れて



やこと
二人つきりになつて
することといえは



……今日はちよつと
海に浸かり過ぎたな

明日は日曜だから
このまま寝るといい

ヤダ!

ヤダって……

ちよつと反応
鈍いかもだけど

スガタの好きに……
していいよ……

なんで
笑うの?!

70

まじゅん

?!

タクトは
面白いな

いいから寝ろよ
子守唄でも
歌おうか？

スガタの歌は
レアだけど知らない

どうせなら
そのまま
抱きしめててよ

ん？

背中あったかいと
落ち着くんだね

お前のほうが
あったかいよ

あ、ここ
赤くなってるぞ

ちゃんと日焼け止め
塗らなかつただろ？

んー…
僕はほっとけば
焼けるだけだから
平気だよ

ちよっとひりひりする
くらいだし

スガタは
焼けないよねえ？
なんで？

んー？
秘密

なんで秘密？

…あつ

なにしてんの
スガタ

消毒…かな？





じゃあ…
今からは恋人らしいこと
…しようか

…うん





あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

そのうち
僕のカタチは
溶けてほごけて
わからなくなつて

僕のカタチを
くまなくたぎる

スガタの指先
視線
熱が



僕の中を
塞ぐものが
なくなつて

あ...あ...あ...

タクト.....っ

好きだ.....

好きだよ.....



寂しきとか

愛しきとか

いろんな気持ち
湧いて溢れて
とまらなくなる



あ…ほ…

ほくも…

すき…

スガタ



空っぽだった
僕の中を

スガタはいつも
満たしてくれる



タクト？


あ…

なんか
幸せだなんて
思ったなら
とまんなくなった



ねえ
もっと言っつてよ
スガタ

僕のこと
好きって言っつて??



好きだよ
タクト

友達 ライバル 親友 恋人

僕らの関係には
これからも新しいカテゴリーが
増えていくのかもしれない


でもどの関係も失いたくない

親友として並んで朝を迎えて
恋人として抱き合って夕暮れを分け合う

その全部が『僕ららしさ』だから

Cradle

描き下ろし




私の主は
美しく聡明で気高い

手を伸ばせばすべて
手に入れられる輝きを
生まれながらに
もった王だ


でも
どこまでも飛べる
力をもつその羽根は
空を自由に
かけることはない

彼はこの島に
眠るもののために
自分以外の生のために
捧げられた贄なのだ




私達はそんな彼が
少しでも安らかに
すごせるよう

この鳥籠を
日々ととのえ
給仕をし
彼を守り



もし
鳥籠から逃れ
外に飛び立とうとすれば


その羽根を
斬るのが
役目だ



私は王の矜持をもって
凛々しく生きようとする彼を

哀れにも 誇りにも
思っていた

春
—



唐突に変化は
訪れた



ーツナシ・タクトー


自由に空を
飛ぶ鳥のような彼は
この囚われの鳥籠に
自ら入ってきた

そして彼は
誰にもできなかった
事を成し得た

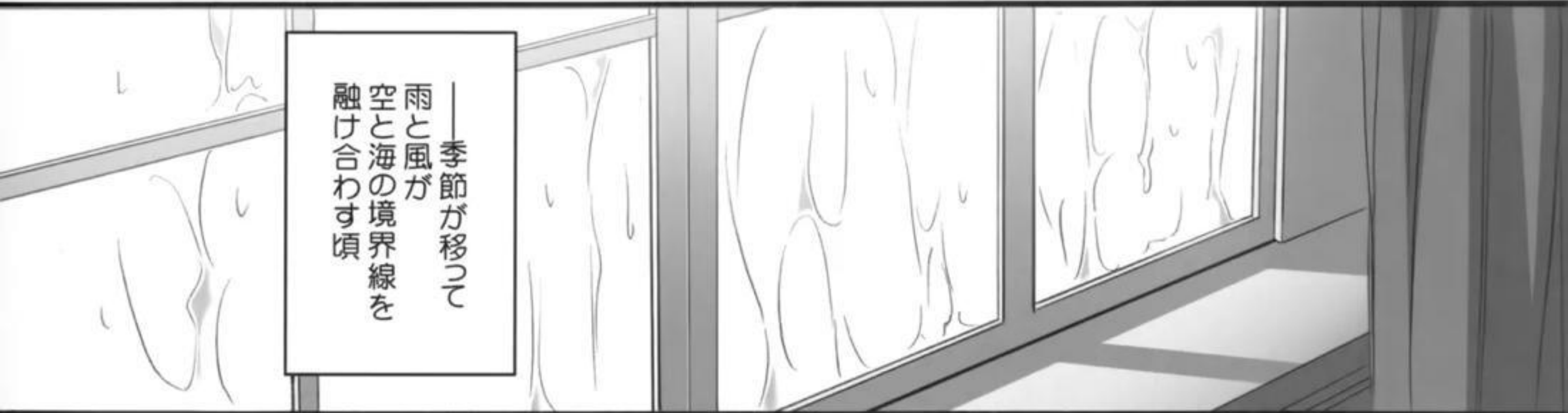
主シの隣ニ立ッつクを

彼は主シに
少しづつ
羽の広げ方や
鳴き方を教えてくれた







相手を得て
鳥籠には
歌が溢れるようになった



——季節が移って
雨と風が
空と海の境界線を
融け合やす頃



いつも
凪いだ海のように
静かだった主のベッドが



たびたび
大波にさらわれたような
シーツの波を
立たせるようになった

それは
孤独に冷えた主が
奇跡のように手に入れた
熱の痕跡だった



カチカチ

あ

あの僕は……

でなくて

スガタなら
まだお風呂ですよ！

僕はちょっと
話があつて部屋に……

枕を足すよう
ぼっちゃまに
仰せつかりまして
お届けに
まいりました

……あ
この枕って
いつもジャガーさんが
用意してるんですか？

はい

ふかふかで
カバーもさらさらで
いい匂いがして

僕
これ好きです

タクトくん
喜んで
もらえてるなら
私も嬉しいです

ぼっちゃまの夜が
すこしでも安らかな
時であるように

毎日ベッドを快適に
『リセット』するのが
私の大事な
役目ですから

？……
リセット
……って





ごめんなさい……

その……う

いめんなわさう



……!!

カチカチ



と



それでは
おやすみなさいませ

ヒゲ




謝ることなんて
なにもないですよ？
むしろ
ありがとうございます

スガタぼっちゃまは
孤独な方
でしたから……


どうか私に
お二人の時間を
守らせてください

……






最近 スガタが
すつごく優しいんだ
それがとつても怖い



ワコや僕に
もつと甘えてくれたら
いいんだけど……

そんな男じゃ
ないんだよね



あいつは嘘をつかないし
本当のことしか言わないけど
肝心な大事なことは
言葉で伝えてくれない

スガタが優しい時は
何か大事なことを
隠してる時なんだって
今はわかるから

僕は単純だから
二人のことが気になって
もつと知りたくなって
それで……

気がついたら
僕の中は二人で
いっぱいになってた

はじめの頃は
僕のことどう思ってるのかなって
そもそも二人の中に
僕はいるのかなって……
思ったりもしたんだけど

でも
どう思われてるかなんて
もう気にしてないんだ

僕を満たしてくれた二人
そんな二人に
足りないものを
僕も与えてあげられたらって
今は思うんだ

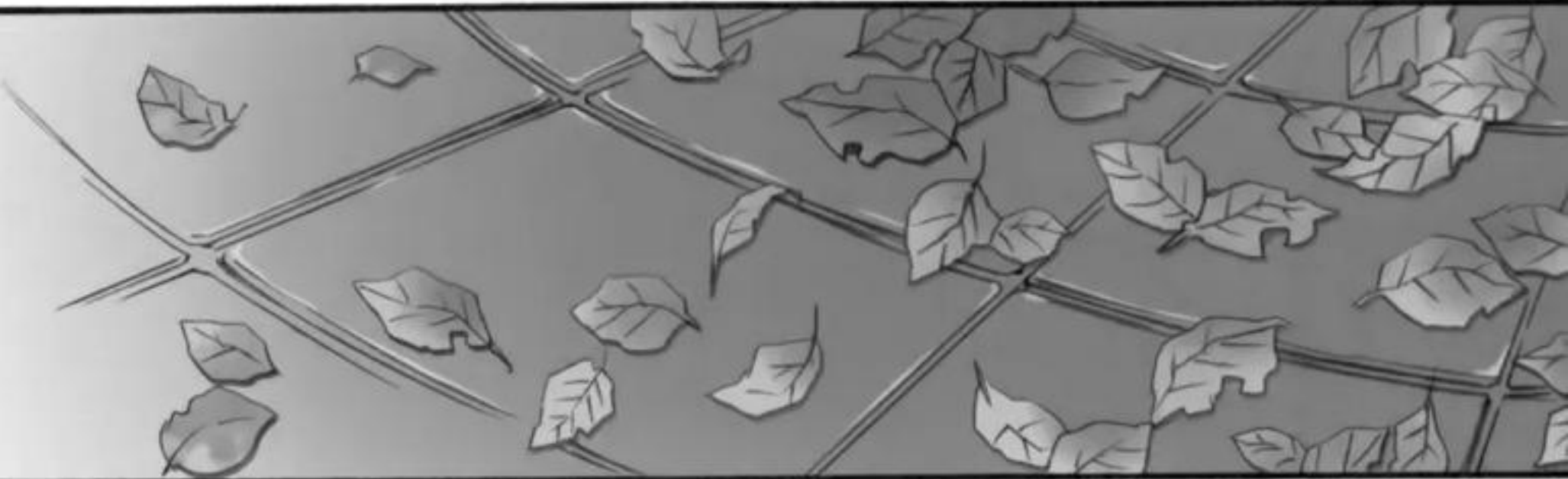
僕
二人が大事で
大好きなんだ
守ってあげたいんだ

戦うことで
二人を守れるなら
そして解放して
あげられるなら……僕は



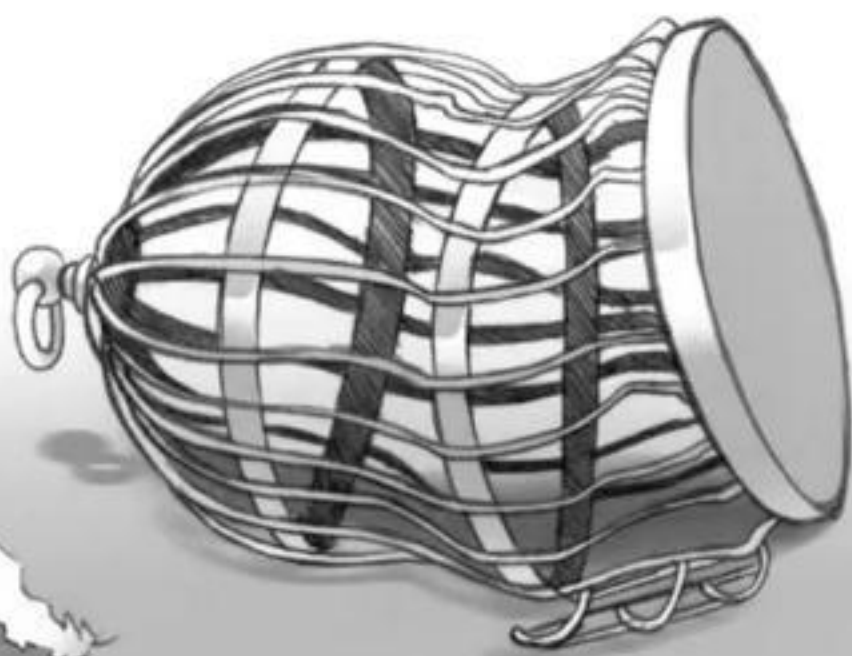


秋
—



タクトくんは
あの夜の言葉通りに
主をこの呪縛から
解放してくれたのだ

もう自由にいっくても
飛んでいける
その羽根を斬る刃も
もう必要なくなったのだ



春がきたー

スガタ坊ちやま達
東京で
迷子になったり
してないかなあ

変なもの食べて
お腹
壊さないかな…

ああ心配!

タイガーってば

私達の
役目って

終わっちゃったん
だよな……

終わっては
いないわ

ねえ
ジャガー……



私達の自慢の『ほっちやま達』が羽を休めにいつでも帰ってきていいように

今までどおりこの『家』を調べておくのが私達の役目よ



私達はこれまでもこれからも

スガタ坊ちやま専用のメイドなんですから



END

誌名●PARALLEL CIRCUIT

発行●CARNELIAN

印刷●共信印刷株式会社

発行日●2013年4月10日

連絡先●<http://ever-green.on.arena.ne.jp>





CARNELIAN

2011-2013